

「大会規模適正化」による悪影響

大幅な増員は望まないが、せめて、少年男女出場枠(ブロック)を増やして若い選手層の活性化を図りたい。

提案①

現状枠で隔年で成年・少年枠数を入れ替えて実施、ミックス戦の導入。

3 種別及び参加人員

種別	監督	選手	参加都道府県	小計	合計
成年男子	最大2	3	24	72	280
成年女子		3	24	96	
少年男子		3	14	56	
少年女子		3	14	56	

成年24と少年14を隔年  
入れ替えて実施する

※監督は総数52名以内(1県2名以内)とし、全日本アーチェリー連盟が調整を行

成年・少年区別なく、男女参加都道府県にミックス戦参加権利を与える

提案②

成年枠24チームは現状維持、少年枠を男女各1名のミックス戦扱いとする。

新割り振り

☆信越と中国地区成年枠の隔年割り振り廃止

種別	監督	選手	参加都道府県	小計	合計
成年男子	1	3	24	72	285
成年女子		3	24	72	
少年男子		2	47	94	
少年女子					

5名増員  
かなり増員は厳しい

※監督は総数47名以内(1県1名)とする。 47都道府県

※少年男女はすべての対戦をミックス戦とし47都道府県参加する。男子1名・女子1名の計2名チーム